

家庭科「子どもの発達と保育」シラバス

単 位 数		2単位											
学科・学年・学級		3学年 2・3組選択科目											
1 学習の到達目標等 子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得させ、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。													
使用教科書・副教材等		実教出版 子どもの発達と保育 新訂版											
2 評価の観点													
評価の観点													
a 関心・意欲・態度		b 思考・判断・表現		c 技能		d 知識・理解							
子どもについての関心を持ち、意欲的に学習に取り組む。子どもの発達や子育て支援に寄与していこうとする実践的な態度を身につけている。		子どもの発達をふまえ、現状について見直し、課題を見つけ、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。		保育に関する基礎的・基本的な技術を総合的に身に付けている。		子どもの発達の特性、生活と保育に関する知識を総合的に身に付けている。							
3 学習計画等													
学期	月	学習内容	学習のねらい・目標	a	b	c	d	時数	評価の概要				
第1学期	4	1章 子どもの発達の特性	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに関心を持ち、乳幼児期の意義について理解する。 ・子どもの発達と保育環境のかかわりについて知り、保育環境を整えることの重要性について思考を深める。 ・子どもの発達に大きな影響を与える保育の環境や子どもへの接し方、保育環境の整え方について考える。 ・児童観、発達観の変遷について理解する。 	○	○	○	○	2	<ul style="list-style-type: none"> ・学習態度 ・提出物 				
		1節 発達と乳幼児期の意義								○	○	○	2
		1 子どもの発達											
		2 乳幼児期の特徴											
	2節 発達と保育環境	○	○	○	2								
	1 発達と保育環境のかかわり												
	2 保育環境を整える												
3節 児童観と発達観	○	○	○	2									
1 児童観・発達観とは													
2 こんにちの児童観・発達観													
5	2章 子どもの発達の過程	<ul style="list-style-type: none"> ・生命の誕生について関心を持ち、乳幼児の身体的特徴と生理的特徴についての知識を習得する。 ・胎児の発育経過を知り、生命誕生にかかわる母体環境の重要性を理解する。 	○	○	○	○	8						
	1節 子どもの発育												
	1 胎児の発育・発達												
2 乳幼児の身体的特徴													
3 乳幼児の生理的特徴													
4 発育の評価													
6	2節 子どもの精神発達	<ul style="list-style-type: none"> ・人間関係の発達と子どもの人格形成について思考を深めるとともに、反抗期や子どもの行動の特徴を理解する。 ・子どもの発達を促す玩具の製作を行う。 ・心の発達の土台として大切な愛着関係の形成過程について学び、親子関係の形成と人間関係のひろがりについて考える。 ・反抗期の子どもの行動を理解し、反抗期の子どもに対する養育態度を考える。 	○	○	○	○	8	<ul style="list-style-type: none"> ・学習態度 					
	1 運動機能と感覚機能の発達												
	2 知的発達												
	3 言葉の発達												
7	4 情緒の発達	○	○	○	○	○	4	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記試験 					
	3節 人間関係の発達												
	1 愛着関係の形成												
2 人間関係の広がり													
3 子どもの人格形成													
第2学期	9	4章 子どもの保育	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の意義と重要性に関心を持つ。 ・保育の意味や人間形成にどのようにかかわるかを考える。 ・家庭保育と集団保育のそれぞれの特徴や役割を知り、子どもの発達に両方が必要であることを理解する。 ・保育環境の変化を確認し、今後の保育の課題を考える。 ・親の子どもへのかかわり方を考える。 ・子どもや家庭を取り巻く状況の変化を確認し、いま求められている保育がどのようなものかを考える。 	○	○	○	○	2	<ul style="list-style-type: none"> ・学習態度 				
		1節 保育の意義と重要性								○	○	○	4
		1 保育とは											
	10	2節 家庭保育と集団保育	○	○	○	○	○	8	<ul style="list-style-type: none"> ・学習態度 ・提出物 				
		1 家庭保育											
	2 集団保育												
	11	3節 保育の方法	○	○	○	○	○	10	<ul style="list-style-type: none"> ・実習態度 				
		1 保育者の役割とは											
	2 指導のポイント												
	12	3章 子どもの生活	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの生活に関心を持ち、乳幼児の生活の特徴から、健康を保持増進し順調な成長を促すうえで、発育や発達に応じた養護が必要なることを理解する。 ・子どもの食生活が発育や発達に大きな及ぼす影響及ぼすことを理解する。 ・乳汁栄養の種類がわかり、状況にあった栄養の与え方を考える。 ・離乳食の意義と過程を理解する。 ・子どもの衣生活と育児用品について、身体特徴をふまえ、安全で快適に生活するために何が必要か選択できる。 ・子どもは遊びを通して発達することを理解し、遊びの援助ができるようにする。 ・子どもの遊びの意義について考える。 ・子どもの発達に合わせた玩具を選び、使用する。 ・遊びにおける保育者からの働きかけを考える。 	○	○	○	○	○	4	<ul style="list-style-type: none"> ・実習技術態度 ・筆記試験 			
1節 生活と養護													
1 生活と健康													
2 栄養と食事													
3 食習慣の形成													
4 衣生活と育児用品													
2節 子どもの遊び													
1 生活と遊び													
2 遊びの援助													
3	3節 生活習慣の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣と社会的な生活習慣の意義と重要性を理解し、子どもの発達に即した適切な生活習慣について考える。 ・子どもの健康を守るための保育者の役割と子どもの病気の特徴を知り、予防の必要性を理解する。 ・子どもの事故の特徴を知り、事故防止と安全教育にかかわろうとする意欲を育てる。 	○	○	○	○	6	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物 					
	1 生活習慣の意義												
	2 基本的生活習慣												
2	3 社会的な生活習慣	○	○	○	○	○	10	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記試験 					
	4節 健康管理と事故防止												
1 日常の健康管理													
2 病気の看病と予防													
3 事故の防止と応急処置													